

学校の現況について

1 児童・生徒数 540名（令和4年3月30日現在）

2 学級編成

	第Ⅰステージ				第Ⅱステージ			第Ⅲステージ		
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18
人数 (支援)	68 (2)	61 (0)	48 (4)	70 (7)	53 (0)	54 (1)	54 (1)	68 (2)	64 (0)	540 (17)
合計	247 (13)				162 (2)			132 (2)		

学年	たんぽぽⅠ 知的	コスモスⅠ 自・情	たんぽぽⅡ 知的	コスモスⅡ 自・情
人数	7	7	1	2
合計	14		3	

地域別児童数

地区	天神	掬鹿谷	黒谷	古家	秋津台	常田	西戸	少分谷	貞守	長井	長谷	黒石	永福台	横谷	森	南山
Ⅰ	23	9	11	3	4	5	1	3	4	3	1	0	3	3	6	127
Ⅱ	21	5	12	4	2	1	0	2	4	1	0	1	1	1	5	86
Ⅲ	12	3	4	7	1	3	1	0	8	1	2	2	2	2	2	53
合計	56	17	27	14	7	9	2	5	16	5	3	3	6	6	13	266

地区	岡本	岩屋	森尾	新定	吉井	小沢	栄枝	厚利	松沢	東垂水	大畑	蔵谷	藪	依藤野	嬉野東	合計
Ⅰ	1	1	3	7	4	2	2	4	2	4	5	0	1	1	4	247
Ⅱ	2	0	1	1	2	0	1	0	3	2	0	0	1	0	2	161
Ⅲ	4	1	0	3	5	0	1	2	1	3	2	1	2	1	3	132
合計	7	2	4	11	11	2	4	6	6	9	7	1	4	2	9	540

3 児童の家庭状況 (R3年度)

* 準要保護家庭 51家庭 (79人)

* ひとり親家庭 父子 4家庭 (6人) 母子 28家庭 (43人)

* アフタースクール 64人

(1年27人 2年23人 3年13人 4年0人 5年1人 6年0人)

* 長期欠席 (30日以上) 前期 (6人) 後期 (7人)

* 問題行動報告 いじめ等 前期 (35件) 後期 (14件)

* R4年度 サポートファイル作成 49人 (前期 31人 後期 18人)

1年 ()人 2年6人 3年7人 4年11人 5年4人 6年3人
7年7人 8年7人 9年4人

4 教育研究の方向

I 研究主題

主体的に関わり学び合う学園生の育成

～9年間の学びのつながりを意識した授業づくり～

II テーマ設定の理由

本校は、全体的に素直で明るく、与えられた課題に対して何事にもまじめに取り組める児童生徒が多い。一方で、自ら主体的に課題を見つけて行動することが苦手である。また、他者と関わることから個に返り、考えを深めるまでに至っていない。

このような児童生徒を部分的でなく、継続的、計画的に育成するため、東条学園開校まで数年間に渡り小・小交流を進め、活動を共にすることで、関係づくりに励んできた。また、小・中間交流では、それぞれの学校へ教師が出向き、相互乗り入れ授業をしてきた。十分な準備の下、昨年度に新校舎が完成し、1～9年生が1つの学び舎で生活を始めているが、「9年間の学びのつながり」「ステージ制を生かしたつながり」という観点で見ると、取組を見直したり改善したりする点はまだ十分にある。

そこで今年度、「自ら学び、こころ豊かにたくましく生き抜く学園生」を育成するため、特に学習面で「学びの向上」と、生活面で「つながる力の育成」を教師が意図的に計画、実践する。そこから生まれる学びやすさを学園生に実感させることから、主体性ある学園生の姿を実現したい。そして学園生が義務教育を終えたとき、ふるさと「東条」を愛し、「東条」とつながり、将来に渡って地域に貢献する学園生を育成する教育活動を推進していきたい。

III 研究内容

(1) 教科指導における「学びのつながり」を研究、推進

教科指導において、義務教育学校の環境を生かした「9年間の学びのつながり」を実践する授業づくりを研究、推進していく。そのために、校内授業研究、協議を今年度から計画的に実施していく。授業づく

り部会を「文型部会」「理数系部会」「道徳部会」に細分化し、それぞれの部会において9年間の学びの中につながりを見出し、各授業における系統性を高めていく。その授業はどこからつながっているか、どこへつながっていくかを各部会協力して学びのつながりを確立し、学習をより系統立ったものに更新していく。

(2) 行事や日常生活における「学びのつながり」を研究、推進

行事や日常生活においても、義務教育学校の環境を生かした「9年間の学びのつながり」を実践する活動を研究、推進していく。そのために今年度は「つながりづくり部会」を中心に、総合学習、行事、日常生活における取組の系統性を高めていく。前期後期間で重複している総合学習の見直し、行事における学年を超えたステージ内外での取組計画、学園会活動や清掃活動においても上級生が下級生に関わる機会を作るなど、1年生から9年生までが同じ学び舎で生活している義務教育学校ならではの環境を生かした取組を確立していく。

5 教職員数 61人

- ・校長 1人
- ・教頭 3人
- ・主幹教諭 前期 2人 後期 2人
- ・県費教職員 前期 17人 後期 17人
- ・非常勤講師 前期 1人 後期 1人
- ・事務職員 前期 1人 後期 1人
- ・学校司書（1） ・スクールアシスタント（前期3） ・介助員（前期2） ・ALT（2）
- ・生活指導補助員（1） ・スクールサポートスタッフ（前期1、後期1）
- ・校務員（1） ・スクールバス調整員（前期1）
- ・スクールカウンセラー（1） ・スクールソーシャルワーカー（1）

6 部活動の状況

部活動名	部活状況（部員数）
野球	・9年生6名 8年生4名 計10名
サッカー	・9年生13名 8年生6名 計19名
卓球	・9年生11名 8年生7名 計18名 ※令和4年度から募集なし
男子バレーボール	・9年生3名 8年生9名 計12名
女子バレーボール	・9年生7名 8年生4名 計11名
女子バスケットボール	・9年生6名 8年生2名 計8名
吹奏楽	・9年生11名 8年生6名 計17名
バトミントン部	・9年生0名 8年生16名 計16名 ※令和3年度新設
文芸部	・9年生0名 8年生3名 計3名 ※令和3年度新設